space

2026年12月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社スペース

プライム市場：9622

2026.11.12

INDEX

第1部

2026年度第3四半期 決算の概要

4　業績ハイライト
5　営業利益増減分析
6　外注費推移
7　販売費及び一般管理費推移
8　四半期業績推移

第2部

2026年度第3四半期 事業の概況

10　市場分野について
11　売上高推移（市場分野別）
12　売上高（市場分野別）
13　四半期受注高・受注残高推移
14　市場分野別受注残高

第3部

2026年度 業績予想

16　2026年度 業績予想
17　配当予想



第1部

2026年度第3四半期 決算の概要

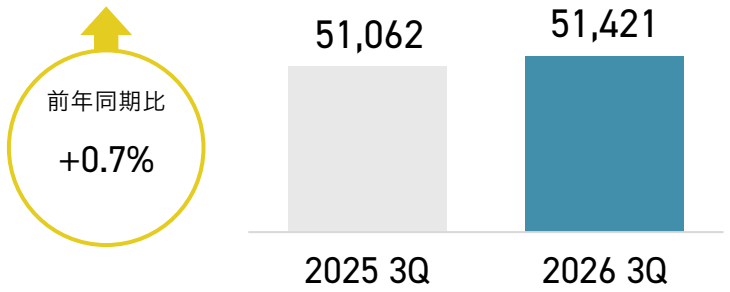
4 業績ハイライト
5 営業利益増減分析
6 外注費推移
7 販売費及び一般管理費推移
8 四半期業績推移

業績ハイライト

既存事業の深化による収益力向上に加え、案件ごとの提案精度の向上やプロジェクト推進力の強化に努めた結果、
売上高及び各段階利益は前年同期を上回る

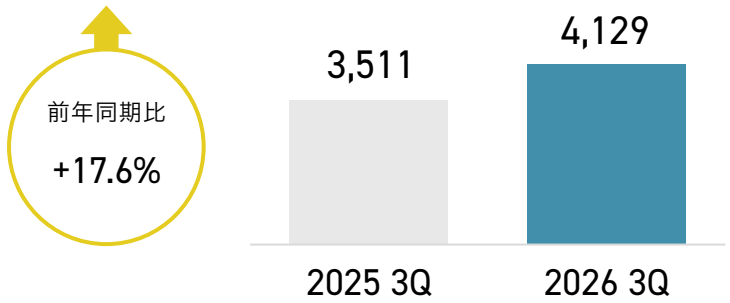
売上高

514億21百万円



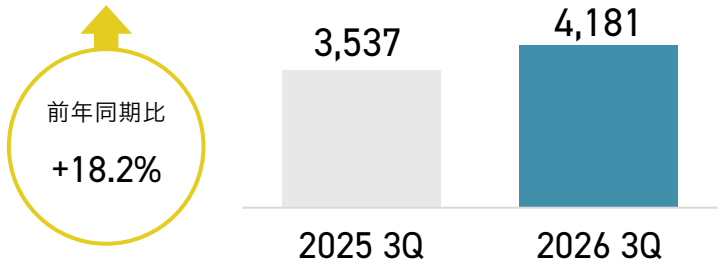
営業利益

41億29百万円



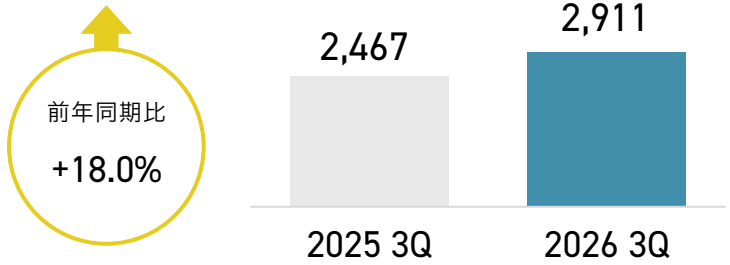
経常利益

41億81百万円



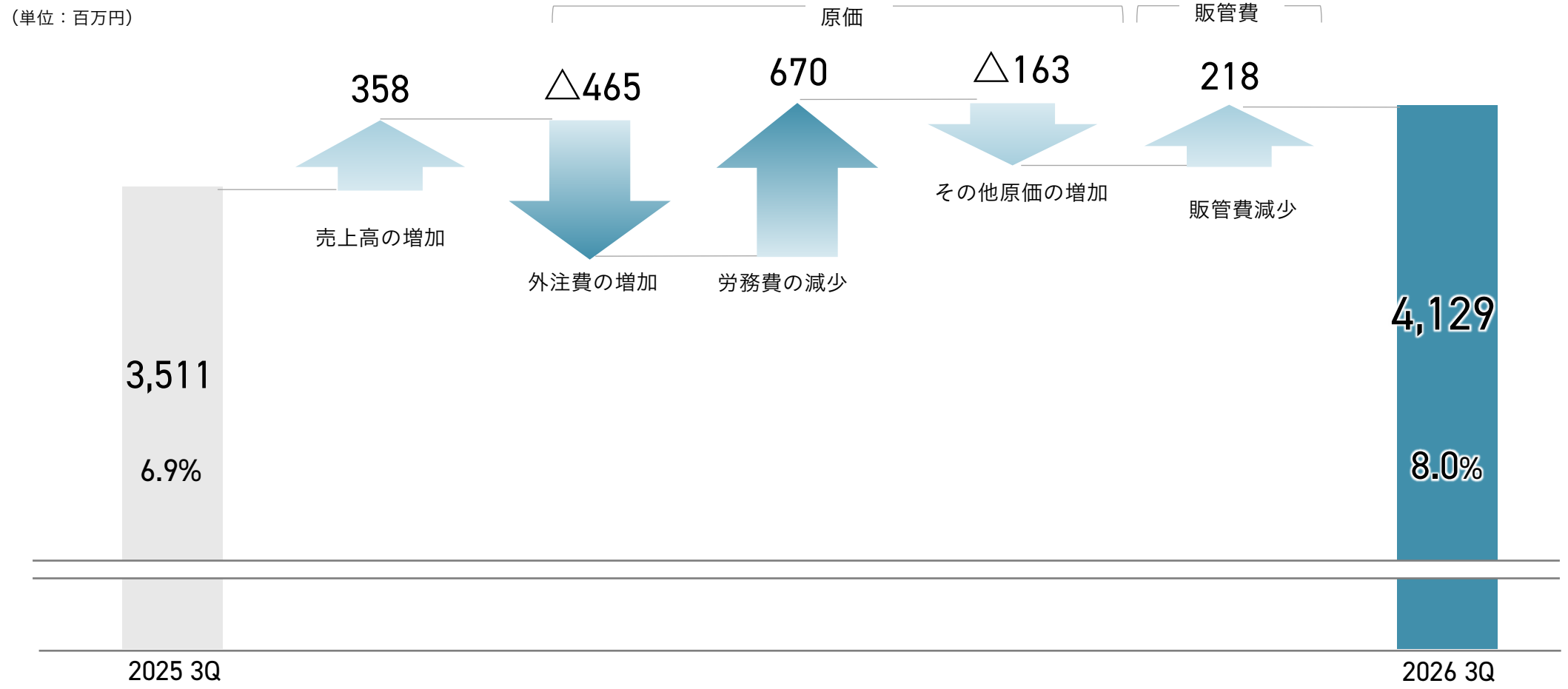
親会社株主に帰属する四半期純利益

29億11百万円



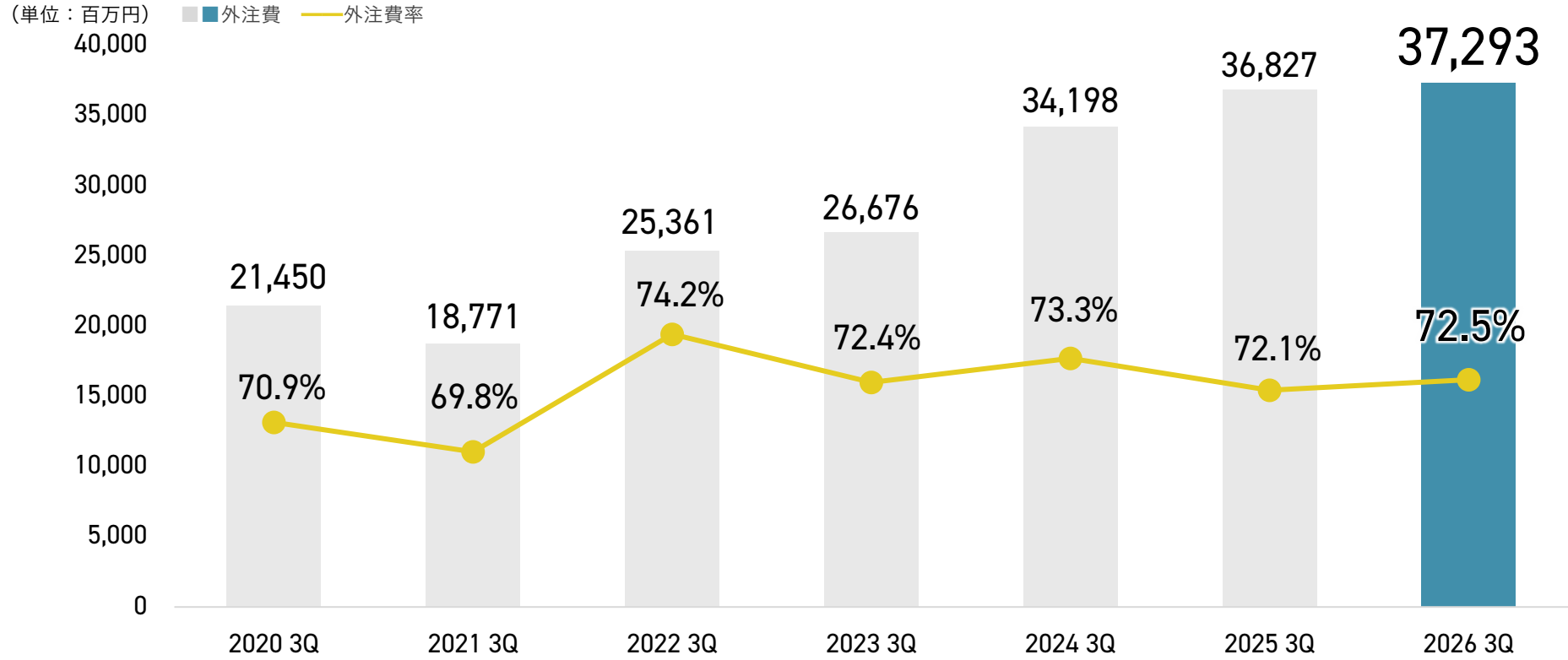
営業利益増減分析

売上高の増加、労務費の減少により、営業利益率は前年同期比で1.1ポイント増加
引き続き付加価値提案による利益向上に努めていく



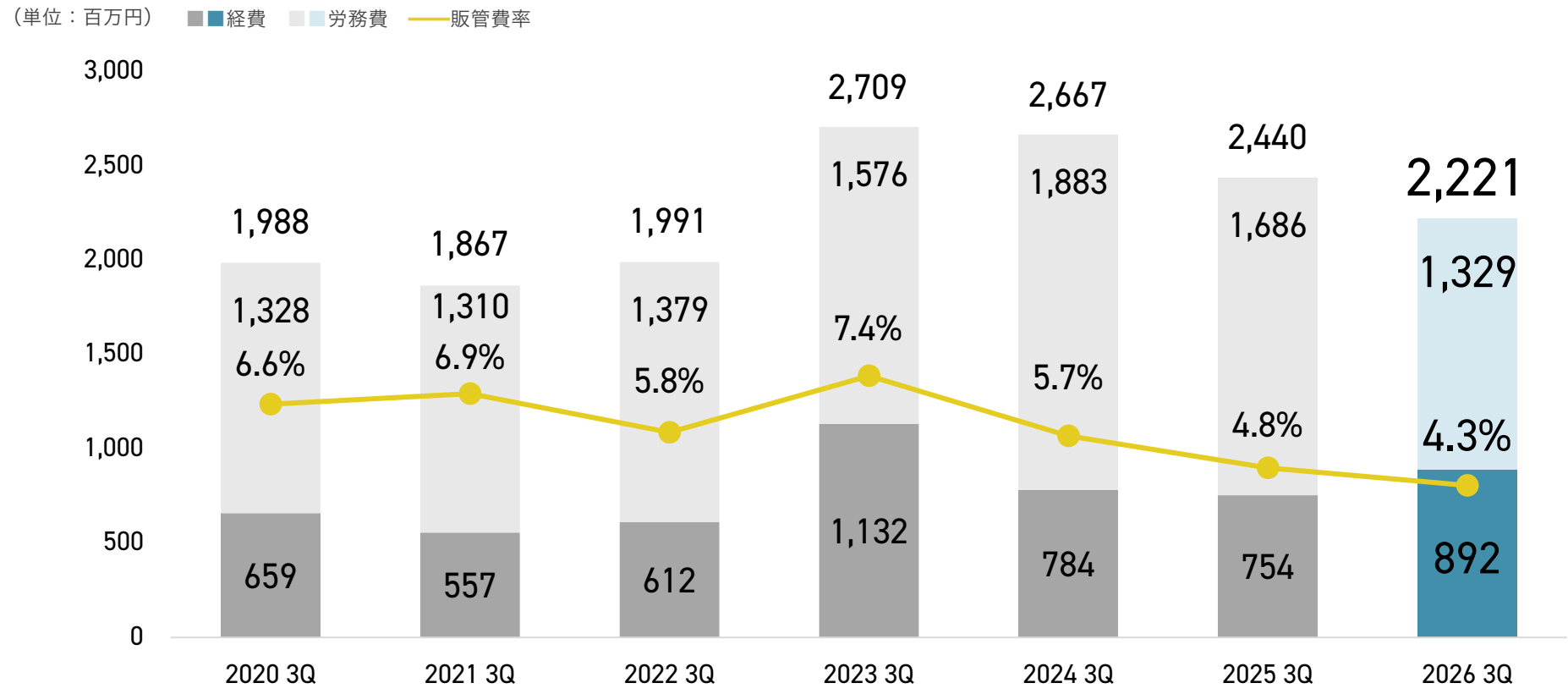
外注費推移

売上高の増加に伴い、外注費は前年同期比で1.3%増加し、外注費率は同0.4ポイント上昇

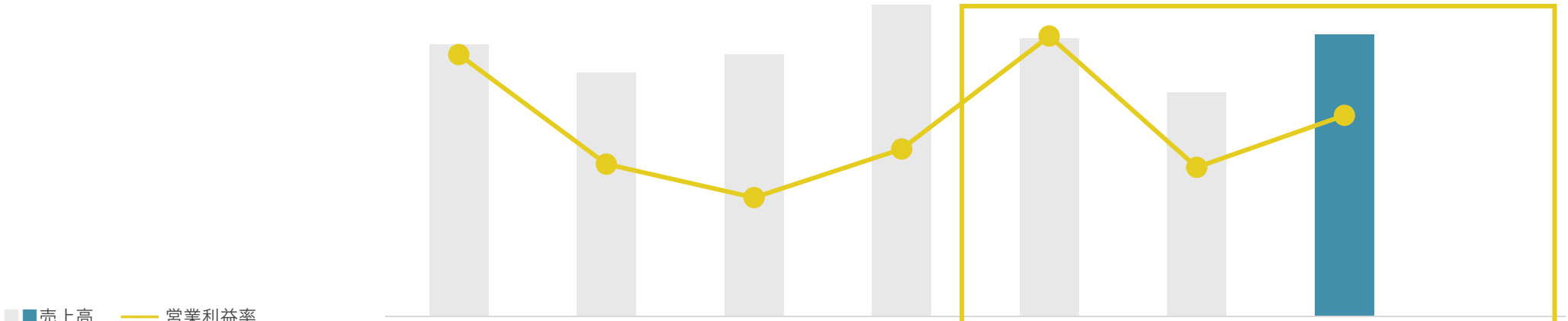


販売費及び一般管理費推移

開発部門費用の原価計上に伴う労務費の減少により、販管費は前年同期を下回る結果となった



四半期業績推移



（単位：百万円）

	2025/1Q	2025/2Q	2025/3Q	2025/4Q	2026/1Q	2026/2Q	2026/3Q	2026/4Q
売上高	17,860	16,009	17,192	20,448	18,242	14,681	18,497	
営業利益	1,706	966	838	1,319	1,856	865	1,406	
経常利益	1,710	975	850	1,342	1,863	889	1,429	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,125	661	680	1,303	1,287	578	1,045	
1株当たり当期純利益（円）	45.93	26.98	27.73	53.11	52.48	23.57	42.56	
営業利益率（%）	9.6	6.0	4.9	6.5	10.2	5.9	7.6	



第2部

2026年度第3四半期 事業の概況

10 市場分野について
11 売上高推移（市場分野別）
12 売上高（市場分野別）
13 四半期受注高・受注残高推移
14 市場分野別受注残高

市場分野について

















商空間
プロデュース企業









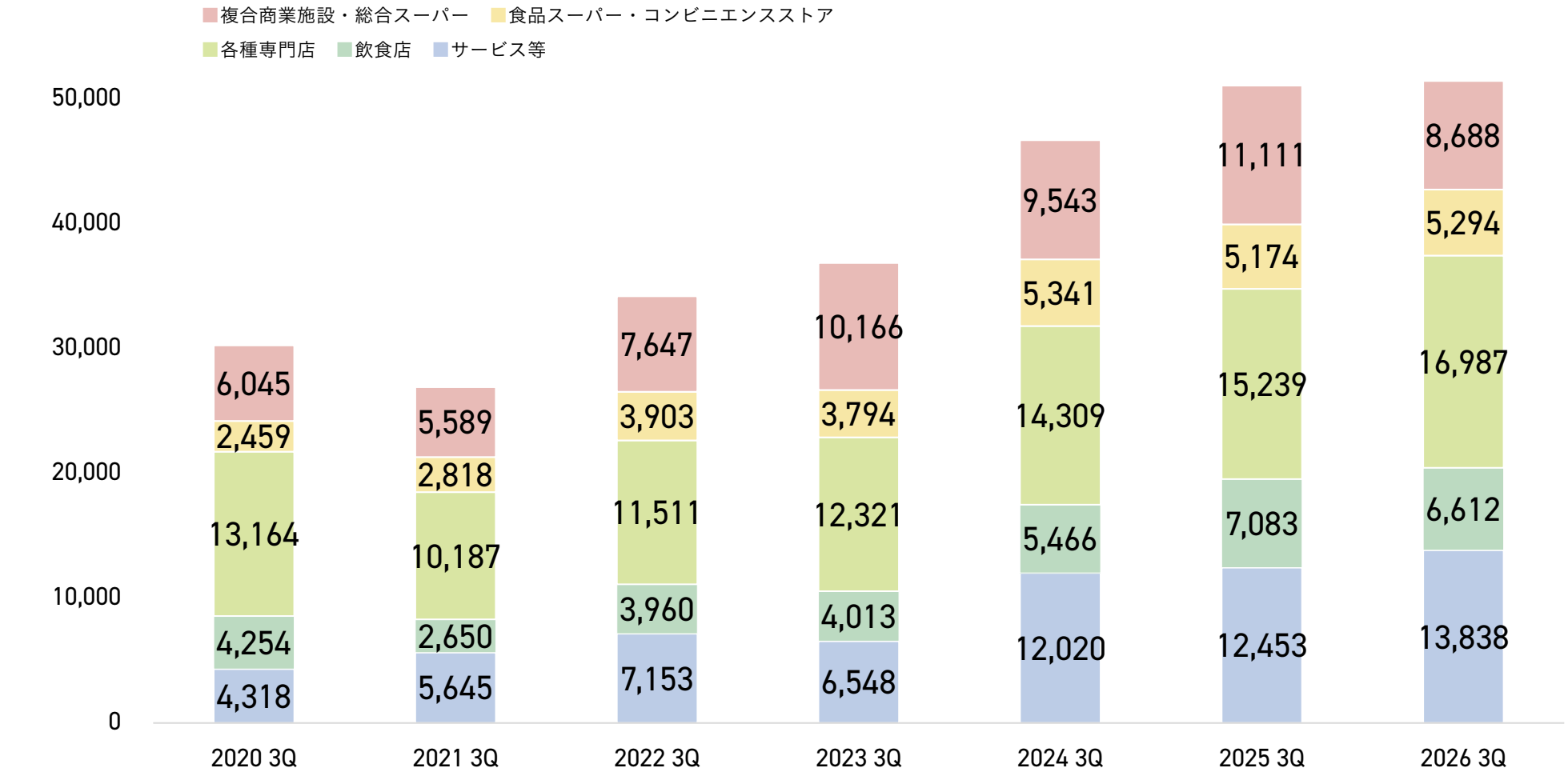




売上高推移（市場分野別）

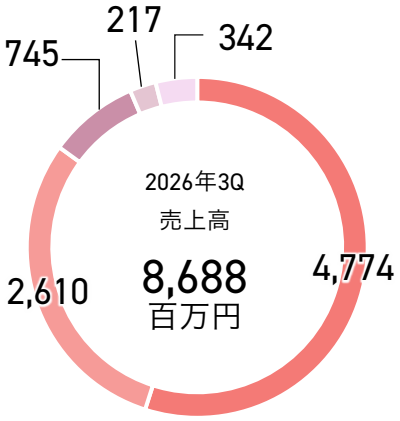
服飾雑貨店において大型旗艦店やハイブランド案件を複数手掛けたことに加え、
ドラッグストアの新装・改装案件が増加し、各種専門店分野が伸長
医療・福祉施設の大型案件に加え、ホテルにおける改装案件が増加し、サービス等分野が堅調に推移

（単位：百万円）



売上高（市場分野別）

複合商業施設 総合スーパー



前年同期比 △21.8%

構成比 16.9%

食品スーパー・ コンビニエンスストア



前年同期比 ＋2.3%

構成比 10.3%

各種専門店



前年同期比 ＋11.5%

構成比 33.0%

飲食店



前年同期比 △6.7%

構成比 12.9%

サービス等

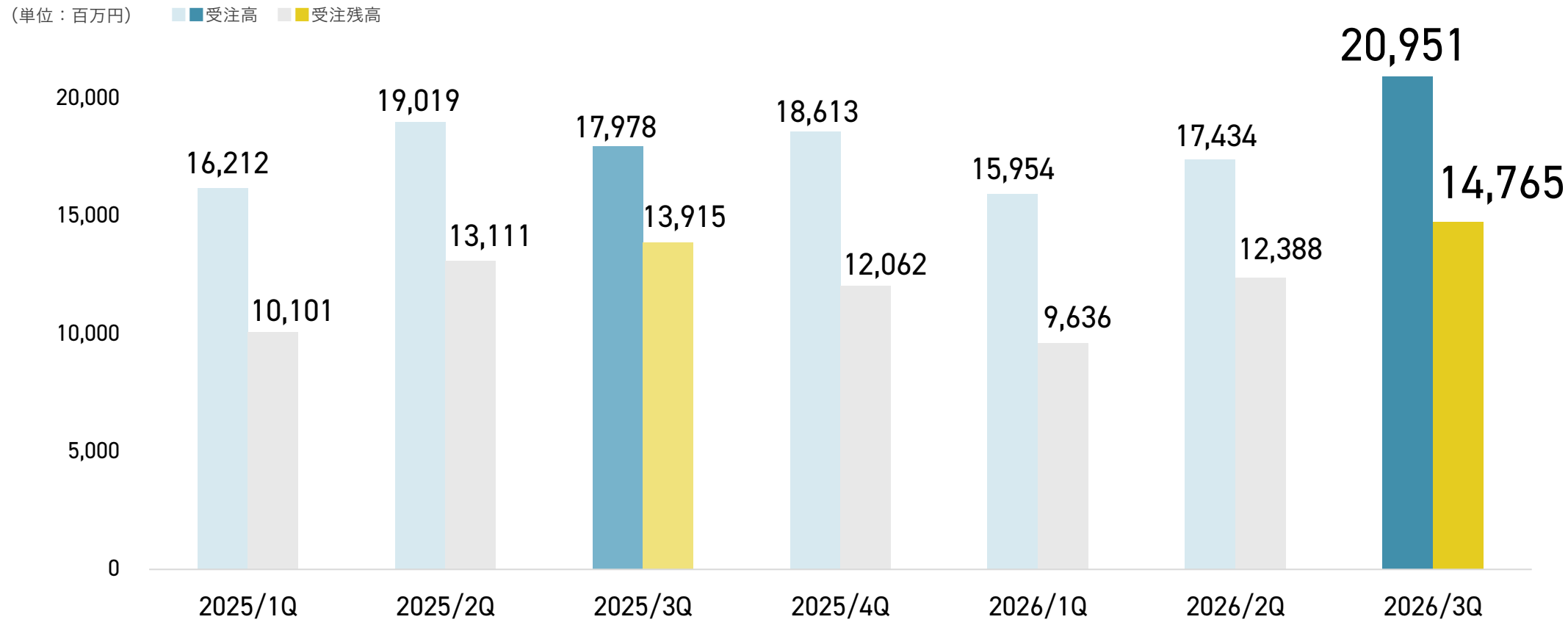


前年同期比 ＋11.1%

構成比 26.9%

四半期受注高・受注残高推移

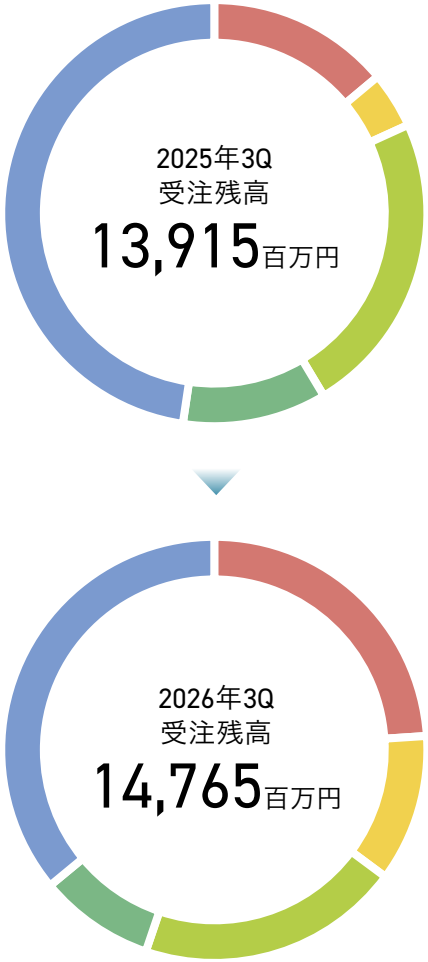
国内を中心に堅調な受注環境が継続し、受注高は前年同期比16.5%増
受注残高も同6.1%増と着実に積み上がっており、引き続き受注基盤の強化に取り組む



市場分野別受注残高

複合商業施設・総合スーパー分野及び食品スーパー・コンビニエンスストア分野における大型案件の受注により、
受注残高が増加

市場分野	2025年3Q		2026年3Q	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
複合商業施設 総合スーパー	1,936	13.9	3,537	23.9
食品スーパー コンビニエンスストア	596	4.3	1,654	11.2
各種専門店	3,228	23.2	2,961	20.1
飲食店	1,525	11.0	1,298	8.7
サービス等	6,627	47.6	5,314	36.0
合計	13,915	100.0	14,765	100.0





第3部

2026年度 業績予想

16　2026年度 業績予想

17　配当予想

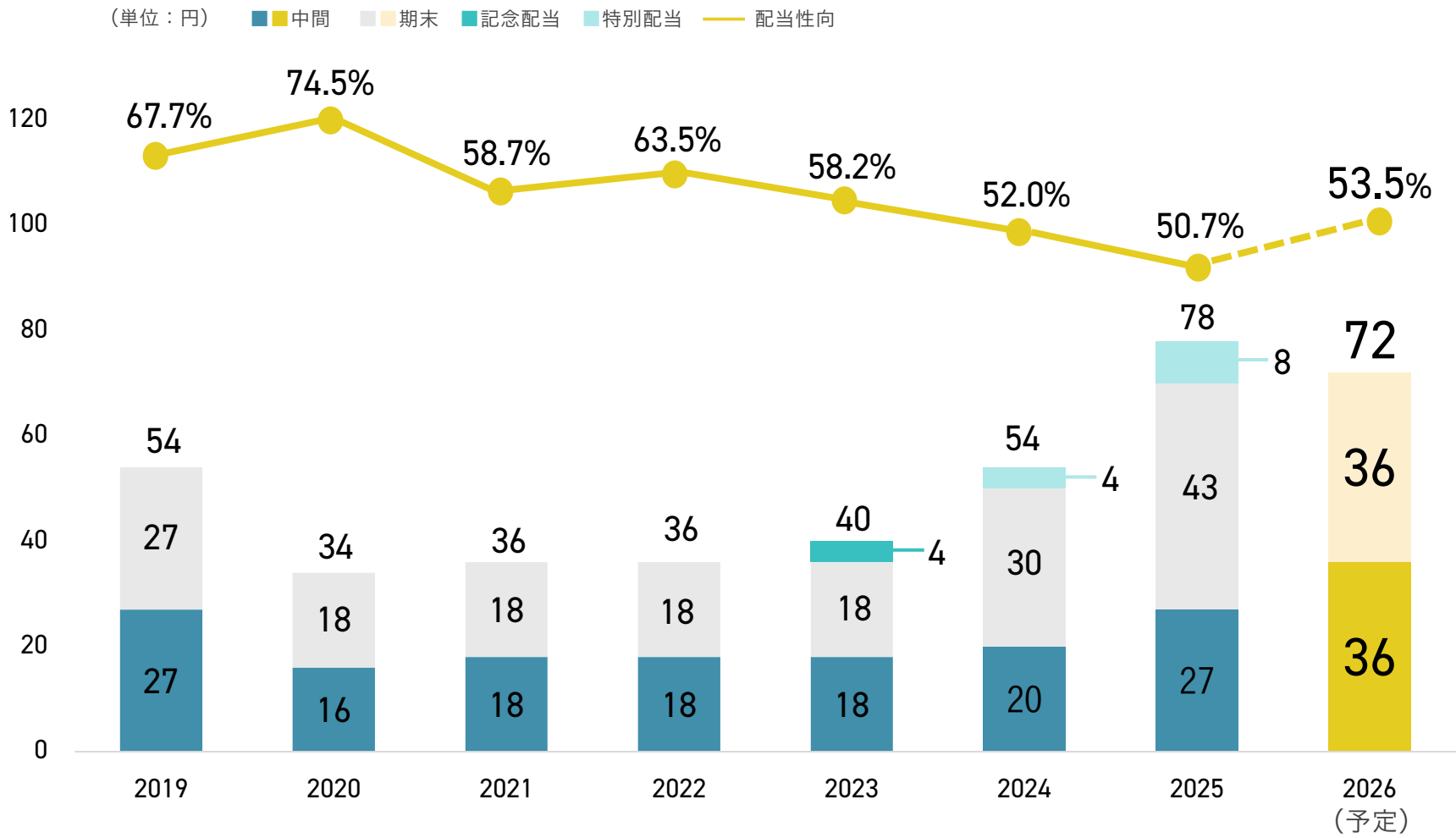
2026年度 業績予想

通期業績予想の達成に向けて、引き続き取り組む
堅調な受注環境を背景に、次期の受注残高は着実に積み上がっている

	2025年度 通期実績(百万円)	2026年度 通期予想(百万円)	増減額(百万円)	増減率（%）
売上高	71,511	72,000	488	0.7
営業利益	4,830	5,040	209	4.3
経常利益	4,879	5,040	160	3.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,770	3,300	△470	△12.5
1株当たり当期純利益（円）	153.76	134.57		

配当予想

年間配当額は1株当たり72円を下限とし、業績の進捗に応じた株主還元を目指す



※2023年は記念配当4円、2024年は特別配当4円、2025年は特別配当8円を含みます



参考資料

2026年3Q実績 損益計算書

	2025年3Q		2026年3Q		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
売上高	51,062	100.0	51,421	100.0	358	0.7
売上原価	45,110	88.3	45,069	87.6	△41	△0.1
売上総利益	5,951	11.7	6,351	12.4	399	6.7
販管費	2,440	4.8	2,221	4.3	△218	△9.0
営業利益	3,511	6.9	4,129	8.0	618	17.6
営業外損益	26	0.1	52	0.1	26	102.3
経常利益	3,537	6.9	4,181	8.1	644	18.2
特別損益	71	0.1	22	0.0	△48	△68.2
法人税等	1,131	2.2	1,297	2.5	166	14.7
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	0.0	△4	0.0	△14	△151.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,467	4.8	2,911	5.7	444	18.0

2026年3Q実績 貸借対照表

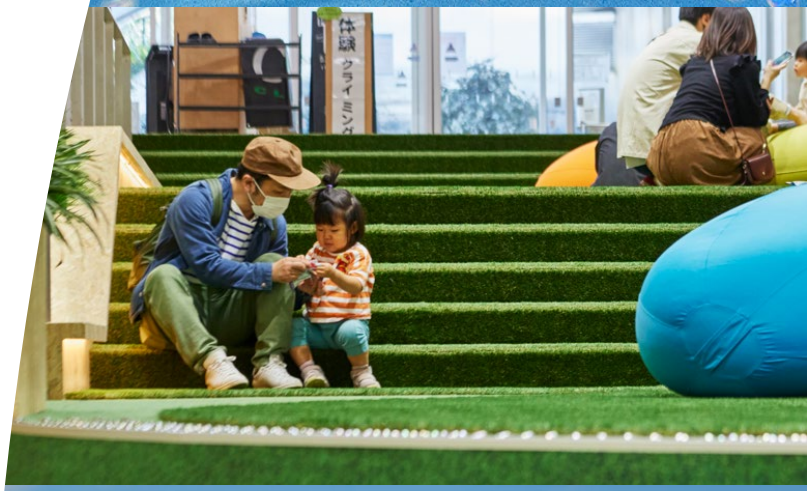
	2025年度		2026年3Q		前年末比	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
流動資産	31,201	69.1	31,133	68.1	△68	△0.2
固定資産	13,931	30.9	14,591	31.9	660	4.7
資産合計	45,133	100.0	45,725	100.0	591	1.3
流動負債	9,554	21.2	9,182	20.1	△372	△3.9
固定負債	662	1.5	644	1.4	△17	△2.6
負債合計	10,216	22.6	9,827	21.5	△389	△3.8
純資産合計	34,916	77.4	35,897	78.5	981	2.8
負債・純資産合計	45,133	100.0	45,725	100.0	591	1.3

SLOGAN

明日が、笑顔になる空間を。

1948年の創立以来、商空間を通じてお客様の想いを実現してきました。
多彩な空間づくりの中で得た、企画からデザイン、設計、施工の豊富な経験と
ノウハウを活かし、お客様のビジネスの成功と、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

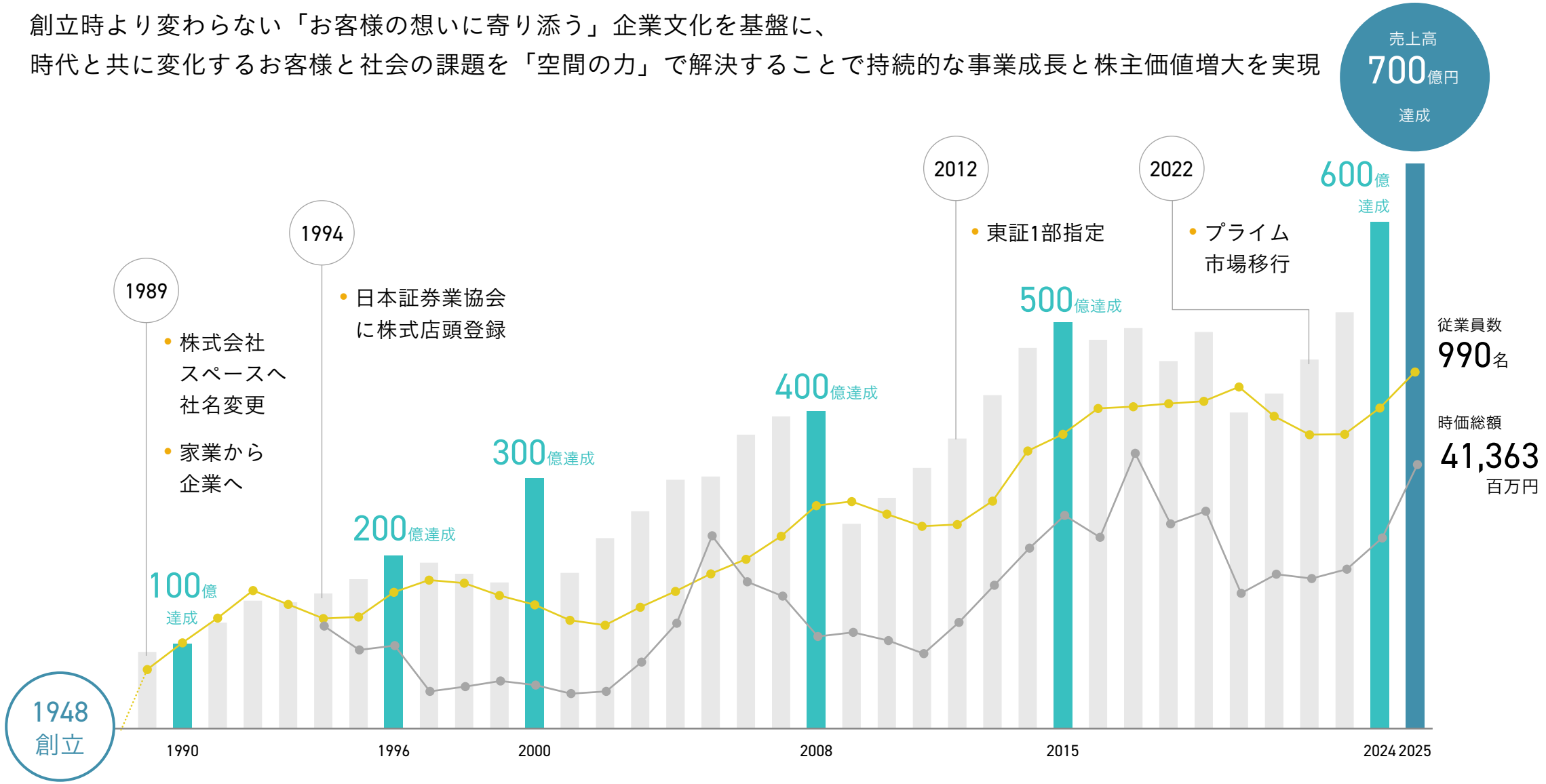






成長の軌跡

創立時より変わらない「お客様の想いに寄り添う」企業文化を基盤に、
時代と共に変化するお客様と社会の課題を「空間の力」で解決することで持続的な事業成長と株主価値増大を実現



※各年度末における時価総額（自己株式を含む）、従業員数

ビジネスモデル

企画からメンテナンスまで自社で担える「一貫体制」により、顧客の想いを全工程を通して実現
深い関与を通じて信頼関係を築き、「空間づくり」を通じた顧客の課題解決と価値提供を行うことで、事業の付加価値を最大化

パートナー企業

- 制作・施工
- 建材メーカー
- 設備メーカー
- 専門業者

安全と品質を支えるパートナーシップ

スペース
パートナー会：
263社

※2025年度末時点

仕入

Space

事業コンセプト「商空間プロデュース企業」

「空間づくり」を通じた顧客の課題解決と価値提供

企画 コンサルティング → デザイン 設計 → 制作 施工管理 → 運営 メンテナンス

開発企画・リーシング
内装監理
家具・什器製作

強み

地域密着の事業拠点
主要4都市の本部をはじめとした全国12の事業拠点がそれぞれ裁量を持ち、地域固有の需要を捉え対応力を発揮

一貫した顧客対応
プロジェクトのゴールまで担当者が一貫対応。顧客の想いや企画時の狙いを実現し、空間価値を最大化

独自の専門組織
高度な専門組織が柔軟に連携しトータルサポート。強力な実行体制で複雑なプロジェクトを成功に導く

課題解決 価値提供

- 商業施設の集客力向上
- 世界観構築によるブランディング強化
- ES向上に寄与するオフィス空間
- 地域のにぎわい創出　…

クライアント

- デベロッパー
- ゼネコン
- 小売・流通
- 飲食
- 行政
- その他（ホテル、レジャー、医療、教育など…）

強固な顧客基盤

取引顧客数：1,027社
取引案件数：11,695件



- 複合商業施設・総合スーパー
- 各種専門店
- 飲食店
- 食品スーパー・コンビニエンスストア
- サービス等

※2025年度実績

商空間プロデュース企業

未来の「まち・みせ・ひと」を想いながら、空間の新しい価値を追求します。

全国の事業拠点	• 主要4都市の本部をはじめとした全国12の事業拠点 →本部ごとに裁量を持ち、独自の色で地域に密着した対応力を発揮
一貫した顧客対応	• 打ち合わせ～デザイン・設計～施工管理～引き渡しまで一貫した顧客対応 →お客様の想いに寄り添い、最適な空間を追求
強固な顧客基盤	• 全国ナショナルチェーンを中心とした強固な顧客リレーションシップ →商業施設分野での圧倒的な知見
独自の専門組織	• 自社内の専門組織【開発本部／内装監理本部／自社工場】 →それぞれの専門性を高めながら、組織を越えて柔軟に連携

商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

SLOGAN

明日が、笑顔になる空間を。

VISION

世の中を、希望にあふれた空間にする。

MISSION

空間の可能性を追求する。

VALUE

お客様と、同じ想いで共に創る。

売上高及び営業利益推移

1996 消費税5%に引き上げ

2000 大規模小売店舗立地法施行

2009 リーマンショック

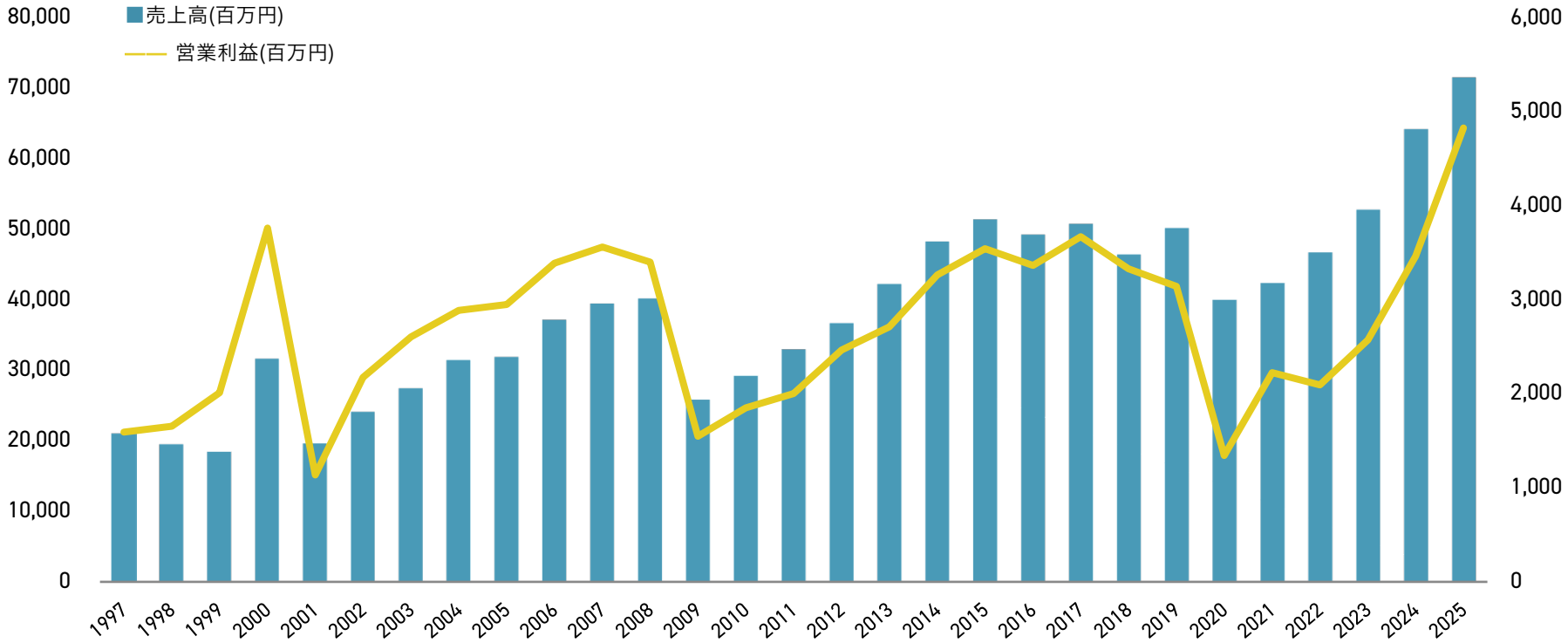
2012 東証一部上場

2014 消費税8%に引き上げ

2019 消費税10%に引き上げ

2020 新型コロナウイルス感染症拡大

2022 東証プライム市場へ移行



※当社は2019年度より連結決算を開始したため、2018年度以前は単体数値を掲載しております
※2024年については、会計方針の変更に伴い、遡及適用後の数値を記載しております

時価総額及び株主数推移

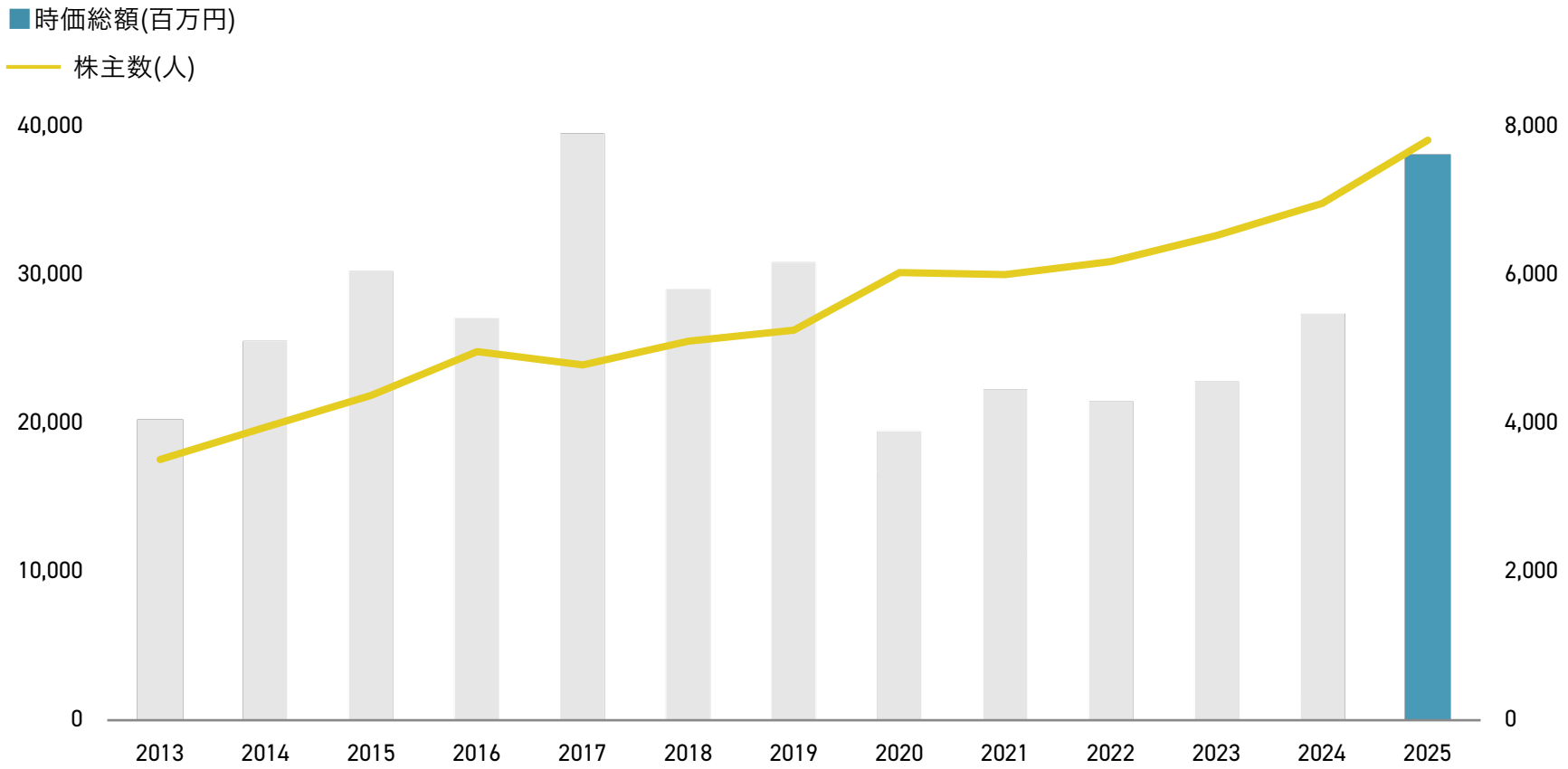
2012 東証一部上場

2014 消費税8％に引き上げ

2019 消費税10％に引き上げ

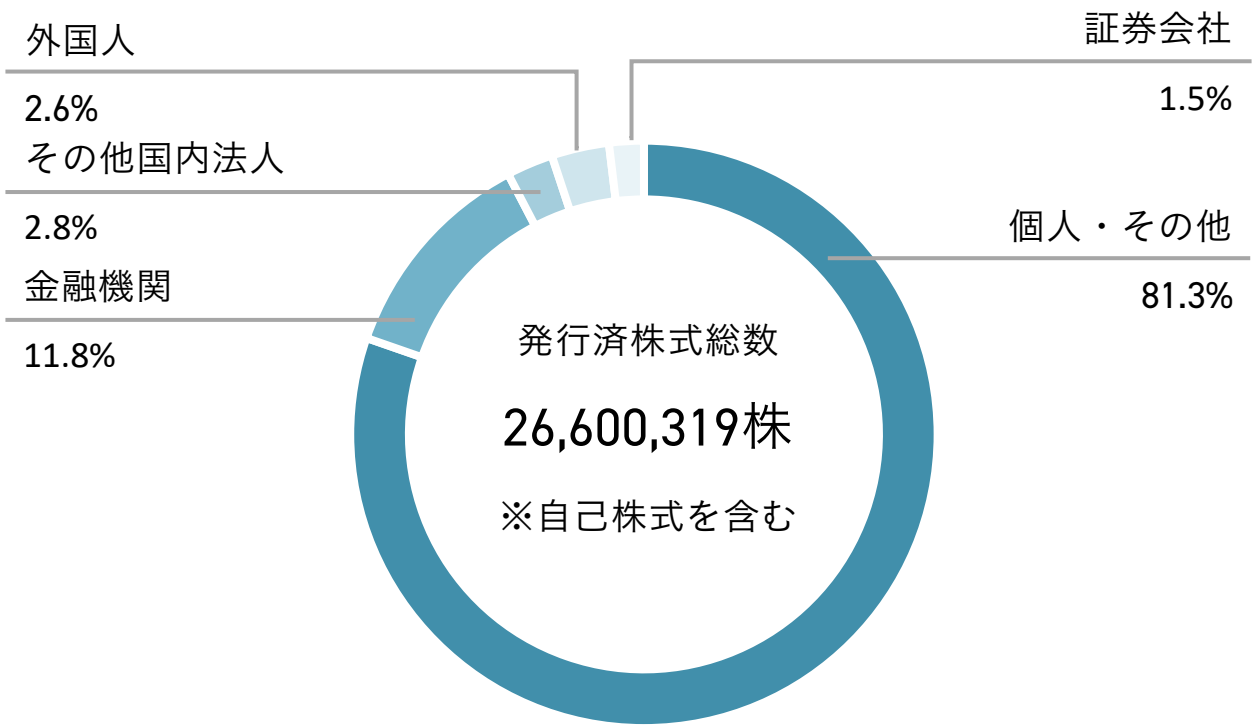
2020 新型コロナウイルス感染症拡大

2022 東証プライム市場へ移行



※各年度末における時価総額、株主数
※自己株式を除く

株主構成



個人・その他	8,107名	21,641,385株
金融機関	12名	3,119,826株
その他国内法人	101名	739,748株
外国人	114名	698,060株
証券会社	27名	401,300株
	8,361名	26,600,319株

※2026年6月末時点

会社概要

商　号	株式会社スペース　　SPACE CO., LTD.
創　立	1948年（昭和23年）7月
上　場	東京証券取引所プライム市場（証券コード:9622）
資本金	33億9553万円
従業員数	連結：1,053名　単体：1,025名（2026年6月末時点）
グループ会社	4社
事業拠点	国内12拠点
事業内容	ディスプレイ業 商業施設・文化施設・娯楽施設・イベント空間の 企画・コンサルティング・設計・監理および施工
決算期	12月31日

明日が、笑顔になる空間を。

space

IRに関するお問い合わせ

経営統括本部 広報部 | ir_info@space-tokyo.co.jp

本資料には、現時点で入手可能な情報に基づいた将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性がありますことをご了承ください。